

# 市議会だより くくるめ



ダンボールがみんなで遊べる遊園地に変身  
(久留米市美術館 九州をあそぼう ダンボールアート遊園地inくくるめ)

第183号

平成29年  
1月15日発行

発行：久留米市議会  
編集：議会広報委員会  
久留米市城南町15番地3  
TEL 0942(30)9305  
FAX 0942(30)9720  
E-mail gikai@city.kurume.fukuoka.jp

重要無形文化財 久留米絣  
(公財)久留米絣技術保存会蔵

## 平成28年度一般会計補正予算や シティプラザの改正条例などを可決

平成28年  
12月定例会号

### CONTENTS

- 定例会の概要 . . . . 2
- 市政に対する一般質問 . . . . 4
- 決算審査の概要 . . . . 8  
平成27年度決算審査の概要をお知らせします
- 常任委員会の活動状況 . . . . 10  
閉会中に実施した所管事務調査の概要をお知らせします
- 行財政改革調査特別委員会の活動状況 . . . . 12



表紙の絣の模様は、毎号変えています。今回の作品名は「冬の花」です。

## 新年のご挨拶



議長  
別府 好幸



副議長  
森 多三郎

新年おめでとうございます。

昨年は、久留米シティプラザ、宮ノ陣クリーンセンターや久留米市美術館のオープンにより、本市の新たなまちづくりが始まる大きな節目の一年でした。

市議会におきましても、行財政改革調査特別委員会が、2月に公共施設の機能集約や市営住宅の経費削減などについて、10月に総合支所のあり方について、市長に提言しました。また、市議会定例会の日程（予定）の早期公開の実施や、議員が行う一般質問の項目をホームページに掲載するなど、情報発信の新たな取り組みを始めました。

今後も、市民の皆様の代表として行政の監視機能をさらに発揮するとともに、市政への提言を行いながら、本市の発展のため、全力を尽くす所存です。

皆様の市議会へのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 定例会の概要

12月2日から16日までの15日間の日程で、平成28年第4回定例会を開催しました。

2日は、平成27年度決算議案及び関連議案について、決算審査特別委員長から審査結果の報告を受け、決算議案については認定、関連議案については可決しました。（☞8P）

その後、市長から28年度一般会計補正予算、市民温水プールの指定管理者の指定について、久留米シティプラザ条例の一部を改正する条例など30議案の提案説明がありました。

6日から9日までの本会議では、市政に関する事務の執行状況や将来の方針などについて、市長、教育長や選挙管理委員会委員長に一般質問を行いました。

た。（☞4P）

12日には教育民生常任委員会と建設常任委員会、13日には経常任委員会と総務常任委員会を開催し、それぞれの委員会に付託された補正予算議案や条例議案などを審査しました。（☞2P）

14日には議会運営委員会を開催し、本会議最終日の議会運営や、市長から追加で提出される議案の取り扱いを協議しました。

16日の本会議では、各常任委員会の議案審査結果報告があり、全ての議案を可決、または承認し、追加提出された監査委員の選任などの人事議案2件についても同意し（☞3P）、第4回定例会を閉会しました。

### 議案審査の概要

市長から提出された議案を、それぞれ所管の常任委員会で詳しく審査しました。ここでは、主な議案について、その内容と委員会における審査状況をお知らせします。

#### ●第123号議案 久留米市草野歴史資料館、山辺道文化館及び久留米市世界のつばき館の指定管理者の指定について〔付託先：経常任委員会〕

現在、指定管理で運営している草野歴史資料館・山辺道文化館と、市直営で運営している世界のつばき館を一括で運営するため、平成29年4月から5年間、指定管理者として、公益財団法人久留米観光コンベンション国際交流協会を指定するものです。

委員から「世界のつばき館が指定管理となるメリットをどのように考えているのか」との質疑があり、観光・国際課から「民間の力と連携することで、世界のつばき館の観光拠点としての機能を生かしなが

ら、さらなるサービスの向上を図り、来館者をふやして、地域への経済効果を生み出していきたいため、指定管理者制度を導入する。また、3館一括管理による経費の削減効果もメリットと考えている」との答弁がありました。



さまざまなツバキを観賞できる  
世界のつばき館（草野町）

可決！

●第129号議案 久留米市民温水プールの指定管理者の指定について〔付託先：建設常任委員会〕

上津町にある久留米市民温水プールについて、平成29年4月1日からの5年間、施設の維持管理を行う指定管理者に、シンコースポーツ・アズビルグループを指定するものです。

委員から「温水プールが指定管理になって以降、地場の企業や団体が指定管理者になっていない。地場企業の育成や市民と協働したスポーツの振興という視点から、地場の企業や団体が指定管理者になれるような枠組みについて、庁内で協議できないか」との質疑があり、施設課から「指定管理者については、応募資格を市内に事業所を有する法人や団体に限定している。安全で安定的な管理運営に加え、市民との協働や地域経済の活性化、地場企業の育成の観点から、今後、庁内で協議を進めていきたい」との答弁がありました。



指定管理者が維持管理を行っている市民温水プール（上津町）

可決！

●第136号議案 久留米シティプラザ条例の一部を改正する条例〔付託先：総務常任委員会〕

久留米シティプラザ利用者の利便性向上及び施設の有効活用を図るため、平成29年1月1日から、駐車場使用料の引き下げを行うものです。

委員から「駐車場利用者が伸び悩んでいる状況で、料金を下げても収入増にならないのではないか」との質疑があり、久留米シティプラザから「駐車場使用料を、当初の1時間当たり300円から200円に値下げすることで、駐車場利用台数はふえると見込んでいる。そのため、収入は現状と変わらないか、若干ふえると考えている」との答弁がありました。

可決！

●第137号議案 久留米市指定介護予防サービス等の事業の人員、設備及び運営並びに指定介護予防サービス等に係る介護予防のための効果的な支援の方法等の基準に関する条例の一部を改正する条例等の一部を改正する条例について〔付託先：教育民生常任委員会〕

介護保険制度の改正により、現在、全国一律の給付事業で行われている介護予防のための訪問・通所介護に関するサービスが、平成29年4月から市の事業へ移行することに伴い、1年間の経過措置を設けるものです。

委員から「制度の改正により、資格を持たない職員も配置できるようになるが、認知症の初期症状の人などに対応できないのではないか」との質疑があり、介護保険課から「市が事業者に対して、認知症の方の介護の仕方や高齢者への接し方などの基本的な部分について、しっかりと研修を行っていききたいと考えている」との答弁がありました。

同意した人事案件

市長が選任する人事には、議会の同意を得なければならないものがあります。なお、敬称は省略しています。

●監査委員

西町 中島 年隆

●固定資産評価審査委員会委員

津福今町 秋吉 樹

提出議案の審議結果は、ホームページでごらんいただけます。

[久留米市議会 議案と結果](#)

検索

クリック

今回は、新たな観光商品の開発、認知症の早期発見の取り組み、運転免許返納者への特典、公共施設の適正な維持管理などについて、質問が出たっば。

久留米市  
イメージキャラクター

くろっば

## 市政に対する 一般質問



地方創生の実現へ地域と協働したまちづくりを

明政会議員団 吉富 巧

**問** 地方創生を実現し、定住促進や交流人口増につなげるためには、周辺地域の活性化も必要である。

市民や地域と協働し、歴史や文化などの特徴的な資源を生かした魅力あるまちづくりを促進するような施策について、どのように取り組んでいくのか。

**答** 本市では、地方創生を進めるため、地域資源を生かした戦略的な地域振興などについて、関係部局が連携して取り組んでいる。また、北野地域の端午の節句まつりや城島地域の婚活イベントなど、地域が主体となった取り組みは、多くの観光誘客や新たな魅力の発見につながっていると感じている。

今後も、地域の主体的な取り組みについて、必要な支援を行い、地域と行政がそれぞれの役割分担のもとに協働し、市全体の活性化を図っていきたい。

◎その他の質問…「地域における男女共同参画の推進について」など



新たな観光商品の開発を

明政会議員団 石井 秀夫

**問** 本市では、地域の宝を磨き上げ来街者に喜んでいただくよう、久留米まち旅博覧会などの着地型観光に取り組んでいる。

近年の観光ニーズの多様化に対応するため、新たな商品開発について、どのように考えているのか。

**答** 近年の観光スタイルは、団体から個人へ、また、その土地ならではの魅力を求める着地型や生活体験型へ大きく変化している。

そのため、これまでになかった新たな観光商品が求められるようになっており、久留米まち旅博覧会では、毎回、新たなプログラムを全体の20%以上とすることを目標に、新たな地域の観光資源の開発及び商品化に努めていただいている。

今後も、市民の皆様による旅行者のニーズにあった観光商品づくりに行政としても支援していきたい。

◎その他の質問…「学童保育所について」など



ドッグランの早期設置を

明政会議員団 原口 新五

**問** ドッグランは、全国の高速道路のサービスエリアや道の駅などにも設置が進んでおり、筑後市においても完成している。また、犬の飼育が可能なマンションやアパートも多くなってきているため、早急にドッグランを設置してほしいが、考えを伺いたい。

**答** 本市では、これまで、ドッグランの整備に向けて、他市の事例調査や愛犬家への聞き取りなどに取り組んできた。施設の開設には、規模や管理運営方法のほか、施設利用のルールづくりや、利用者のマナー向上をいかに図っていくかなどの課題がある。

今後は、既存の公園内や広場などを候補地として、関係機関などと協議を進め、早期に整備・開設したい。その後、利用状況や利用者の声を踏まえた上で、管理運営方法などの詳細な構築を図っていきたいと考えている。

◎その他の質問…「一丁田交差点改良について」など

着地型観光…観光客の受け入れ先が地元ならではのプログラムを企画し、参加者が現地集合、現地解散する新しい観光形態のこと。

ドッグラン…犬をリードなしで自由に走らせたり遊ばせたりすることのできる専用の広場のこと。

## 今後、懸念される教室不足への対応は

公明党議員団 塚本 弘道



**問** 近年、三潁地域では、宅地開発などによる子育て世代の流入などにより、人口が増加し、あわせて児童数も増加している。

そのため、小学校で教室不足の発生が懸念されるが、現状と今後の対応を伺いたい。

**答** 平成34年度までの児童数推計によると、三潁地域の小学校の児童数は、現在よりも増加する期間があるが、普通学級数は増加しない見込みである。そのため、教室不足にはならない見込みだが、特別支援学級の教室は、必ずしも余裕がある状況ではない。

今後、教室不足が生じる場合は、特別教室の一時転用や教室の増設などで対応し、特別支援学級を増設する場合は、バリアフリーや衛生設備に配慮した教室の設置に取り組んでいきたい。

◎その他の質問…「久留米市立地適正化計画について」など

## 認知症の早期発見の取り組みを

緑水会議員団 佐藤 晶二



**問** 認知症への早期対応のため、60歳など一定の年齢に達した方を対象とした認知症の検診を実施することで、本人が認知症を自覚するようになると考える。

また、それにより、家族など周りの方も認知症を認識し、対応することができ、将来的な負担軽減につながると思うが、市の考えを伺いたい。

**答** 本市では、認知症の早期発見の取り組みの1つとして、「ものわすれ予防検診」を市内5カ所で開催している。しかし、これ以上の専門スタッフの確保が困難であるため、年間受診定員数は限られている。

また、国の戦略として、製薬会社などが認知症の治療薬などの研究・開発に取り組んでおり、これらの情報収集に努め、本市の施策に活用できるものがあれば、取り入れていきたいと考えている。

◎その他の質問…「異常気象下に対応する道路・河川施設の再整備について」など

## 正規保育士のさらなる増員を

日本共産党議員団 金子 むつみ



**問** 公立保育所において、保育士の非正規雇用の割合がふえる中、特に臨時職員がふえている。臨時職員を慢性的に雇用しているため、保育士が頻繁に変わり、子どもや保護者には大きな不安となっているが、正規職員の保育士をふやせないか。

**答** 本市の公立保育所の基準となる保育士は109名であり、正規職員の配置は57名である。任期付職員が26名、臨時職員が26名となっている。非正規職員については、臨時的・補助的な保育業務への従事を目的として雇用している。また、臨時職員の任期は、地方公務員法で最長1年以内と規定されている。

正規職員の採用については、ここ数年間、毎年度実施しており、今後も、保育の質を最優先に考え、保育所での適正な人員確保と採用に努めていきたい。

◎その他の質問…「久留米シティプラザ建設に絡む再開発事業の過払い金について」など

## 出産前後の妊産婦に対する支援は

緑水会議員団 森崎 巨樹



**問** 出産前の妊婦へのケアとして、経済的不安や妊娠・育児面でのさまざまな悩みへのきめ細やかな対応が必要と考えるが、本市の取り組み状況を伺いたい。

また、最近注目されている産後うつへのケアなど、出産後の支援にどのように取り組んでいるのか。

**答** 本市では、出産前のケアとして、母子健康手帳交付時の面談や、医療機関と連携した妊娠期からのケアサポートなど、状況に応じたきめ細やかな相談支援に取り組んでいる。また、出産後のケアとして、家庭訪問時に産後うつ病質問票を活用し、メンタル面の状況把握に努め、必要に応じて専門相談につなげるなど、産後うつ予防の支援に取り組んでいる。

今後も、妊産婦と接する機会を捉え、関係機関と連携を図りながら、効果的な支援に努めていきたい。

◎その他の質問…「公職選挙法違反に対する注意喚起について」など



### 運転免許返納者への特典を

久留米たすき議員団 堺 陽一郎

**問** 最近、高齢者による車の事故が多くなってきている。他の自治体では、運転免許返納者に特典をつける取り組みをいち早く導入しているところもたくさんあると聞いている。

本市においても、高齢者による車の事故を未然に防ぐために、同様の取り組みはできないか。

**答** 本市では、運転免許返納者に対し、よりみちバスの料金割引を行っており、民間でも、西鉄バスと堀川バスによる運賃割引などの支援が行われている。

また、セーフコミュニティの会議で、高齢運転者対策の必要性について意見をいただいております。今後の取り組みについて協議を進めているところである。

今後も、特典については、高齢者の交通事故防止の観点で、課題の整理と検討を進めていきたい。

◎その他の質問…「社会現象でもある人口減少に向けた市の考え、政策について」など



### 市職員の男女平等意識の徹底を

みらい久留米議員団 秋永 峰子

**問** 他市のふるさと納税PR動画が、女性の人権への配慮がないと批判を受けた。本市でも、広報紙の表現について、市民から指摘を受けたと聞いている。

市職員はどのような表現が男女差別につながるか意識し、学習しておくべきと思うが、どのような研修を行っているのか。

**答** 本市では、男女共同参画社会の実現に向け、新規採用職員や新任課長などを対象にした研修を行っている。また、全職場で男女平等についての知識と認識の向上を図る研修を行っており、具体的な事例を取り入れ、より実践的な内容になるようテーマを設定するなど、手法も工夫しながら進めている。

今後も、全職員が男女平等の問題を自分のこととして捉え、認識を深める研修を継続することで、主体的に行動する職員の育成に努めていく。

◎その他の質問…「認知症の早期支援について」など



### 中小事業者への特別徴収一斉実施の猶予を

無所属クラブ 緒方 正子

**問** 従業員の給与から個人住民税を事業者が納入する特別徴収の推進のため、平成29年度から県内の事業者が一斉に特別徴収義務者として指定される。

しかし、中小零細企業では、事務負担が大きくなるため、猶予期間を設けられないか。

**答** 給与所得に係る個人住民税は、地方税法等により、特別徴収とされているが、未実施の事業者があることが全国的な課題である。そのため、23年度から県と県内市町村では、特別徴収の推進に取り組んできた。24年度からは個別訪問、27年度からは一斉指定の実施に向けたチラシの送付などを行ってきた。

猶予期間については、給与システム改修等により29年度からの開始に間に合わない場合、申し出により1年間猶予することもできるようになっている。

◎その他の質問…「従業員の個人番号を記載した住民税通知書の送付について」など



### 市有資産のさらなる活用策の導入を

久留米たすき議員団 原 学

**問** 京都市では、資産の有効活用基本方針を策定し、民間や市民から資産活用の提案を受ける「京都市資産有効活用市民等提案制度」を実施している。

本市でも、政策実現のための重要な経営資源である市有資産の情報を公開し、京都市と同様の制度の早急な導入は考えられないか。

**答** 本市でも、これまで市有地の売却や広告事業などに取り組んできた。京都市の事例は、遊休地の売却だけでなく公共施設の命名権など、幅広く提案を求める点は注目すべきであるが、公共性などの観点から、実現可能性の高い提案は少ないと聞いている。

しかし、市民などから提案を幅広く受けることは有効と考えるので、取り組みの成果等も把握しながら、具体的な検討を進めていきたいと考えている。

◎その他の質問…「都市計画マスタープランについて」など

## 公共施設の適正な維持管理を

公明党議員団 山下 尚



**問** 平成28年に本市の公共施設で、電気系統の老朽化による停電などの事故が3件発生した。施設の老朽化が進む中で、普段の点検をしっかりと実施することによる適正な維持管理が必要と思うが、現在の状況と今後の対応について伺いたい。

**答** 施設の維持管理については、専門業者による法定点検に加え、施設管理者が自主点検を行っている。しかし、施設ごとに自主点検の状況が異なり、施設管理者に点検要領などの知識が十分でないケースもあったため、建築系技術職員と連携を図りながら、確実な点検の実施とスキルアップに取り組んでいる。

今後は、建物の部位や設備の種類に応じた改修サイクルを設定し、予防的な視点で改修を実施するための計画をつくり、施設の保全に努めていきたい。

◎その他の質問…「投票率向上の取り組みについて」など

## 交通弱者へ移動手段の確保を

明政会議員団 田中 良介



**問** 公共交通の利用が不便な地域では、運転免許を返納しようとしても、自家用車がなくなると移動が制約され、返納できない方もいると考える。今後、超高齢社会が進む中で、高齢者など移動が制約される交通弱者の移動手段の確保をどう考えているのか。

**答** 本市では、移動制約者の日常の移動手段を確保することを目的として、北野や城島地域でよりみちバスの運行を行っている。この事業では、運転免許自主返納者や障害のある方に対して、通常200円の料金が100円になる料金割引の支援を行っている。

今後も、運転免許自主返納者を含めた移動制約者に対する施策を中心に、誰もが安全かつ快適に利用できる持続可能な公共交通の構築に、引き続き取り組んでいきたいと考えている。

◎その他の質問…「各種ボランティアへの支援について」など

## 身近な場所に避難所の確保を

明政会議員団 田住 和也



**問** 本市では、熊本地震で震度5強を観測したほか、平成24年の九州北部豪雨で河川の氾濫などが起きた。

いつどのような災害が起きても不思議ではない中で、高齢者などの災害時要援護者や外国人が安心して避難できるよう、自治会集会所などの身近な場所を避難場所として確保できないか。

**答** 本市では、一定の收容能力がある校区コミュニティセンターや小中学校などを避難所に指定しているが、避難所までの距離が遠く、避難に時間がかかる校区がある。他市では、突発的に発生する地震等への対応のため、地域住民が、安全で利用しやすい場所を自分たちで自主避難所として設置する例もある。

そのため、今後の地域防災計画の見直しの中で、自主避難所の確保などについて、地域の皆様と協議させていただきたいと考えている。

◎その他の質問…「認知症支援について」など

## 鉄道駅周辺への定住促進は

みらい久留米議員団 古賀 敏久



**問** 本市では、人口減少の中、持続可能なまちづくりを進める立地適正化計画の策定を進めている。この計画では、居住を維持・誘導する区域として、居住誘導区域を定めている。例えば、西鉄安武駅など居住誘導区域外の鉄道駅周辺についても、都市戦略として、定住促進を積極的に進めるべきではないか。

**答** コンパクトで持続可能な都市づくりを進めるためには、鉄道駅周辺に定住人口を受け入れることが有効である。しかし、居住誘導区域外の駅周辺には土地利用に関する多くの規制があり、そのハードルは高く、定住人口の受け皿整備が困難な状況である。

そのため、国・県に規制緩和を強く要望していくとともに、まずは駅周辺の適切な計画を策定した上で、規制をクリアするための具体的な方策について、調査・研究・検討をする必要があると考えている。

◎その他の質問…「地域防災について」

立地適正化計画…人口減少と超高齢社会の進展による店舗や病院などの減少、公共交通の撤退などの課題に対応するため、施設や居住を維持・誘導する区域を定め、コンパクトで持続可能なまちづくりを進める計画のこと。

## 決算審査の概要

決算審査特別委員会では、9月23日から10月3日までの間、市長から提出された平成27年度一般会計決算などについて、予算の使い方、事業の取り組み状況について審査しました。



平成28年6月から本格稼働している宮ノ陣クリーンセンター

平成27年度の一般会計及び特別会計歳入決算総額は2,362億4,086万円、歳出総額は2,337億4,166万円です。黒字決算となりました。

また、水道事業会計は、総収益45億6,355万円に対し、総費用36億9,890万円で、純利益8億6,465万円の黒字決算になりました。下水道事業会計は、総収益65億2,481万円に対し、総費用62億1,239万円で、純利益3億1,242万円の黒字決算になりました。

市議会では、市に対し、今後、想定される人口減少と地域経済の縮小の克服に積極的に取り組むとともに、行財政改革の一層の推進や財源確保にも最大限の工夫を行うことを強く求めました。

### 主な質疑

#### 総務費

**Q** 住民への説明責任や財政の効率化・適正化を図る観点から、国は財政の見える化の徹底を自治体に要請している。本市での取り組み状況はどうか。

**A** 財政の見える化は、職員のコスト意識を高めるとともに、事業コストなどが明らかになることで、市民に事業への理解を得る手法として非常に有効と認識している。そのため、平成29年度末までには、国の統一的な基準による財務書類の作成と公表を行う予定である。

#### 民生費

**Q** 認定こども園の整備などを行っても、待機児童が解消されていない。市として、子育てしやすいまちづくりをどう考えているのか。

**A** これまで、待機児童の解消に向け、既存保育所の拡充や保育所の新設等、計画的な供給体制の確保に努めてきた。一方で、母子保健から子育て支援まで一体的に連続してできる仕組みづくりも課題と捉えており、今後も子育て支援策にしっかりと力を入れていきたい。

#### 衛生費

**Q** 無責任な飼い主を減らし、殺処分をなくすため、動物管理センターでの犬の引き取り手数料を増額できないか。

**A** 市では、安易な引き取りを行わず、飼い主の責任で飼育を続けることや新たな飼い主を探すことを基本として対応している。引き取り手数料は、県内の保健所と同額で運用しており、増額については、他市の状況を見ながら検討していきたい。



櫛原町にある動物管理センター



労働費

**Q** 障害者が働きやすい職場環境づくりに向けて、どう取り組んでいるのか。

**A** 市内事業所に対して、障害者の雇用などに関するパンフレットの発送や職場定着セミナーなどを開催している。また、事業所を訪問し、障害者雇用促進法に関する情報提供を行うなど、さまざまな手法で意識啓発に努めている。

農林水産業費

**Q** 筑後川でとれるエツは、貴重な観光資源の一つでもあるが、漁獲量が減少している。原因をどう考えているか。

**A** 市内の漁協からは、河川や有明海の環境の変化、エツが遡上する前に禁漁域のない海での乱獲、鳥や外来魚による被害などが影響していると聞いている。



国内では主に筑後川下流域でとれるエツ

商工費

**Q** 耳納北麓地域には、山辺道文化館と草野歴史資料館があり、それぞれイベントなどを行っているが、入場者数が伸びていない。施設をどう活性化していくのか。

**A** 両施設の近隣にあり、観光バスなどでの来訪も多い世界のつばき館を起点として、地域や施設を周遊する仕掛けが必要と考えている。そのため、電動自転車の導入や散策マップを作成した。今後、これらの施設の活性化に向け、さらに工夫をしていきたいと考えている。

土木費

**Q** 災害時の行動として、まず自分が避難するという意識が市民にまだ浸透していない。どう周知していくのか。

**A** 災害時には、まずは自分の命を守ることが重要である。そのため、自分の命が守られていれば人の手助けもできるということを第一に、今後も、出前講座を行うとともに、各校区と協力し、自主防災研修・訓練の中で周知をしていきたいと考えている。

消防費

**Q** 消防団と常備消防である消防本部は、訓練も含めてどう連携しているのか。

**A** 実災害において、円滑に連携できるように、防災訓練や水防訓練などに取り組んでいる。また、平成27年度からは、消防署と小学校区を単位とする単独分団で、より実践的な合同訓練を実施し、連携を深めている。

教育費

**Q** 第3期教育改革プランに掲げる「たのしい学校」の実現に向け、不登校やいじめなどにどう対応しているのか。

**A** 月一回の学校生活アンケートの実施などにより問題の早期発見に努めている。さらに、生徒指導サポーターやスクールカウンセラーなどと連携した教育相談や家庭生活改善に向けた支援などの充実を行っている。

教育費

**Q** シティプラザの開館前から市民一体となって取り組んできた事業の成果としては、どのようなことがあるのか。

**A** これまで、建設の方向性や管理運営計画の検討、開館前のプレ事業などでは、市民や団体みなさんに参画していただき、協働して取り組んできた。そのことが、開館後、多くの方に来場いただく施設につながっていると考えている。

# 常任委員会の活動状況（10月～11月）

## 総務常任委員会

▶10月28日

▷久留米シティプラザについて

今年4月に開館した久留米シティプラザの稼働状況や来館者数、今後の取り組みなどについて、久留米シティプラザから説明を受けました。

**Q** 施設の営業時間に利用時間が合わないなどの理由で、ザ・グランドホールなどを借りられなかった方がいると聞くと、もっと柔軟に対応できないのか。

**A** 施設の安全管理のため、利用時間などに一定のルールを設定しているが、一方で柔軟な対応を求められていることは認識している。公演などの内容を確認した上で、利用時間の延長などに関して、できる限りの対応をしていきたい。

▶11月24日

▷アンテナショップ事業計画について

久留米広域連携中枢都市圏の事業で東京に出店するアンテナショップについて、平成29年7月のオープンに向けた事業計画書が完成したので、広域行政推進課から説明を受けました。

**Q** 店舗の工事期間中も、通りに面したガラスに、連携中枢都市圏の構成市である4市2町のPRなどはできないか。

**A** 工事期間中から、4市2町のPRなどを行うことは有効だと思うので、今後検討していきたい。

※久留米広域連携中枢都市圏…近隣自治体（大川市、小郡市、うきは市、大刀洗町、大木町）と連携し、雇用創出や定住人口の増加などを目的とした事業を行い、活力ある社会経済を維持するために形成する圏域のこと。

## 教育民生常任委員会

▶10月25日

▷久留米市の生涯学習の推進について

市民一人一人の学びを生かす社会づくりに取り組む本市の生涯学習の現状と課題について、生涯学習推進課から説明を受けました。

**Q** 少年の翼の参加者が集団行動で得た貴重な体験を生かして、次の久留米を担っていくような人材になるよう、研修後も意見交換などの継続した交流の場はあるのか。

**A** 現在、参加者の継続した意見交換の場は設けていないが、個人的に交流を続けているグループはあると聞いている。意見交換会などの実施については、今後、実行委員会とも協議していきたいと考えている。

▶11月22日

▷日吉小学校校舎改築工事について

平成28年12月に校舎改築工事が完了する日吉小学校について、現地調査を行いました。

現地では、教室や理科室、給食室などの各室や、校舎内に併設されている学童保育所を視察しました。



日吉小学校を調査

## 経済常任委員会

▶10月25日

▷農業の生産振興に対する支援について

本市では、競争力ある産地の育成を図るため、生産施設や省力機械の導入支援事業などを行うことで、農業生産力の強化を推進しています。

これらの取り組みの進捗状況などについて、生産流通課から説明を受けました。その後、支援先の一例として宮ノ陣地区カントリーエレベーターの現地調査を行いました。



宮ノ陣地区カントリーエレベーターを調査

▶11月22日

▷企業誘致の取り組みについて

新たな雇用の場の創出や地域経済の活性化などを目的に行う企業誘致の取り組み、その受け皿となる産業団地への誘致実績などについて、企業誘致推進課から説明を受けました。

**Q** 本市の産業団地は、他市の産業団地と比較して、どのような特色や強みがあるのか。

**A** 自動車や物流、医療、福祉関連などの多様な業種の集積が特色である。また、交通の利便性や誘致企業に対する優遇制度、さらに、市内には理系の大学もあり、人材の確保ができることが本市の強みと考えている。

## 建設常任委員会

▶10月28日

▷くるめ生きものプラン（仮称）案～久留米市生物多様性地域戦略～について

将来にわたり自然とともに生きる社会の実現を目的として策定する、くるめ生きものプラン（仮称）の案について、4月の所管事務調査で出た意見などを踏まえて見直した内容を中心に、環境保全課から説明を受けました。

**Q** 絶滅危惧種などに指定された生き物への対策は、どのように考えているのか。

**A** 市内には、約200種の希少野生生物が生息している。しかし、市として実態把握が十分にできていないため、まずは自然環境調査を行うなど、現状把握に努めたい。



市内に生息する絶滅危惧種  
ニッポンパラタナゴ

▶11月24日

▷久留米市立地適正化計画について

将来のまちづくりの土台となる久留米市立地適正化計画について、7月の所管事務調査で出た意見などを踏まえて策定された計画案について、都市計画課から説明を受けました。

**Q** 居住誘導区域外の地域にとっては、商店などの生活利便施設や地域コミュニティの維持など、生活に直結した課題が出てくると思う。それらの課題についても、市民にわかりやすく示すことができないか。

**A** この計画は、人口減少社会においても、設定した居住誘導区域に人口を保ち、生活利便施設や公共交通等の充実を図ることで、地域全体の生活を支えていくことを基本としている。そのような点をわかりやすく示して、市民の意見を伺いたいと考えている。

## 行財政改革調査特別委員会の活動状況（10月～12月）

### ▶10月13日

#### ▷総合支所について

委員会での意見を取りまとめた提言書の素案について検討を行い、市長へ提言することを決定しました。

### ▶10月18日

委員長から提言書の内容について、議長へ報告を行いました。

### ▶10月24日

市長に、総合支所のあり方について提言しました。

提言書には、「総合支所の見直しについては、合併の経緯を十分尊重しながら行政運営の効率化を進め、一体的な都市づくりによる持続的な発展に資するよう一層のスリム化を図ること」としており、留意事項として、市民生活に密着し利便性の高い総合窓口機能を基本とし、簡素で効率的な組織を構築すること、組織の機能に応じた職員の適切な配置を行うことなどを盛り込みました。

提言書は、市議会のホームページのお知らせ一覧からごらんいただけます。

### ▶12月2日

#### ▷久留米市行財政改革推進計画（平成27～31年度）の進捗状況について

行財政改革推進計画に掲げる施策の27年度中の取り組みについて、行財政改革推進課から説明を受けました。

**Q** 今後、市の施設の維持管理費用が増加すると見込まれているので、施設使用料の見直しの必要があると思うが、どのように考えているのか。

**A** 「各種手数料及び使用料の見直し」について計画に掲げ、見直しを進めることとしており、具体的な方向性については、今後、関係部局と連携し、協議していく。



市長（右）に提言書を渡す委員長（中央）及び副委員長（左）

## 次回の定例会（予定）のお知らせ

今回は、2月28日（火）から3月28日（火）の期間で開催する予定です。全ての日程の開催時刻は、午前10時を予定しています。なお、日程は予定ですので、都合により変更されることがあります。

- 2月28日（火）…議案の提案説明など
- 3月2日（木）
  - ）…一般質問など
- 8日（水）
- 9日（木）
  - ）…予算審査特別委員会
- 21日（火）
- 22日（水）…常任委員会（教育民生・建設）
- 23日（木）…常任委員会（経済・総務）
- 28日（火）…審議採決など

## ～議会を傍聴しませんか～

- 本会議は、自由に傍聴することができます。
  - ・傍聴を希望される場合は、直接20階東側の傍聴席入口からお入りください。
- 委員会の傍聴には、手続きが必要です。
  - ・開会の20分前までに、18階議会事務局にお越しください。
  - ・傍聴できる人数は、10人を限度に決定しますが、定員を超えた場合は抽選を行います。



議員の一般質問項目は、市議会のホームページで見ることができるよ。